

## 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課  
担当課長名：東 智徳

事業名 よこはまいせはら いずみ かみいいた 横浜伊勢原線（和泉・上飯田地区）		事業区分 街路	事業主体 横浜市
起終点 よこはまし いずみく いずみちよう 自：横浜市泉区和泉町		よこはまし いずみく かみいいたちよう 至：横浜市泉区上飯田町	
延長 1.3 km			
事業概要 本路線は、戸塚区の国道1号から藤沢市境を結ぶ放射型の道路で、国道1号、環状3号線、環状4号線などと連絡し、南西部地域の交通の円滑化を図るものである。			
H1年度事業化	S32年度都市計画決定 (H8年度変更)	H1年度用地着手	H2年度工事着手
全体事業費	107億円	事業進捗率	80%
計画交通量	35,000台/日		
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 2.1  (残事業) 16.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 15.6/122億円 (事業費：14.7/121.4億円) 維持管理費：0.9/0.9億円	総便益 (残事業)/(事業全体) /255億円 (走行時間短縮便益：/248.3億円) 走行費用減少便益：/6.0億円 交通事故減少便益：/0.9億円
基準年 平成16年			
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（現道の混雑時旅行速度の改善が期待される） ・歩行者・自転車のための生活空間の形成（歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる。 他7項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 3環状10放射道路の一つに位置づけられており、重点的に整備を進める路線である。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 泉区役所などの公共施設が立地し、渋滞緩和、交通利便性、市民の安全性の向上のため、早期整備の重要性が高まっている。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成15年度までに約70%の用地を取得しており、平成19年度までに、用地取得を完了させる予定である。工事についても、引き続き土工事、擁壁工事を行う。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地取得も進み、電線共同溝工事及び街路築造を進めており、平成20年度末に完成の予定である。			
施設の構造や工法の変更等 特になし			
対応方針		事業継続	
対応方針決定の理由 本路線は、本市南西部地域の放射状の幹線道路として重要な道路であり、早期の事業完了を図る必要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。